

## 1. 沿革

明治 35 年 4 月	県警察部に衛生試験室、細菌検査室を設置
昭和 25 年 7 月	衛生部医務課所管のもとに「島根県立衛生研究所」を設置（庶務課、細菌検査科、理化学試験科）
昭和 34 年 6 月	松江市北堀町に独立庁舎を設置（既設建造物を買収改築）
昭和 36 年 8 月	庶務係が庶務課に改称
昭和 38 年 8 月	庶務課が総務課に改称
昭和 43 年 9 月	松江市大輪町に松江衛生合同庁舎が竣工し、同庁舎に移転
昭和 44 年 8 月	細菌検査科、理化学試験科を廃止し、微生物科、生活環境科並びに公害科を設置
昭和 45 年 8 月	微生物科、生活環境科、公害科の 3 科を廃止し、細菌科、ウイルス科、食品科、公害科並びに放射能科を設置
昭和 47 年 8 月	「島根県立衛生研究所」を「島根県立衛生公害研究所」に改称 公害科を環境公害科に改称
昭和 51 年 9 月	松江市西浜佐陀町 582 番地 1 の新庁舎へ移転
昭和 57 年 4 月	環境公害科を廃止し、大気科及び水質科を設置
昭和 59 年 4 月	細菌科、ウイルス科を廃止し、微生物科を設置
平成 10 年 4 月	企画調整・GLP 担当を配置
平成 12 年 4 月	「島根県立衛生公害研究所」を「島根県立保健環境科学研究所」に改称 企画調整・GLP 担当を企画調整担当、GLP 担当に分離 保健科学部、環境科学部、原子力環境センターを設置 微生物科を感染症疫学科に、食品科を生活科学科に、大気科を大気環境科に、水質科を水環境科に改称
平成 15 年 3 月	原子力環境センターが竣工し移転
平成 15 年 4 月	企画調整、GLP 担当を企画調整・GLP 担当と保健情報研修担当に再編
平成 16 年 4 月	フラット化・グループ化により各科を各グループに改称 総務課は総務企画情報グループに改称
平成 17 年 4 月	感染症疫学グループを廃止し、細菌グループ、ウイルスグループを設置
平成 19 年 4 月	生活科学グループを廃止し、食品化学スタッフを設置 放射能グループを廃止し、原子力環境センターに配置
平成 21 年 4 月	「島根県立保健環境科学研究所」を「島根県保健環境科学研究所」に改称
平成 22 年 4 月	食品化学スタッフを廃止し、業務を細菌グループに移管
平成 24 年 4 月	総務企画部を設置、原子力環境センターは原子力安全対策課に移管
平成 25 年 4 月	各グループを各科（課）に改称
平成 30 年 4 月	総務企画情報課を廃止し、総務企画課、健康福祉情報課を設置
令和 3 年 4 月	GLP スタッフを廃止し、感染症情報管理スタッフを設置 保健科学部を感染症疫学部に変更 気候変動適応センターを所内に開設

## 2. 施設

### 2.1 位置

松江市西浜佐陀町 582 番地 1	郵便番号	690-0122
北緯 35.4720°	電話	0852-36-8181 ~ 8188
東経 133.0158°	F A X	0852-36-8171
	E-mail	hokanken@pref.shimane.lg.jp
	Homepage	<a href="https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/pref/chosa/hokanken/">https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/pref/chosa/hokanken/</a>

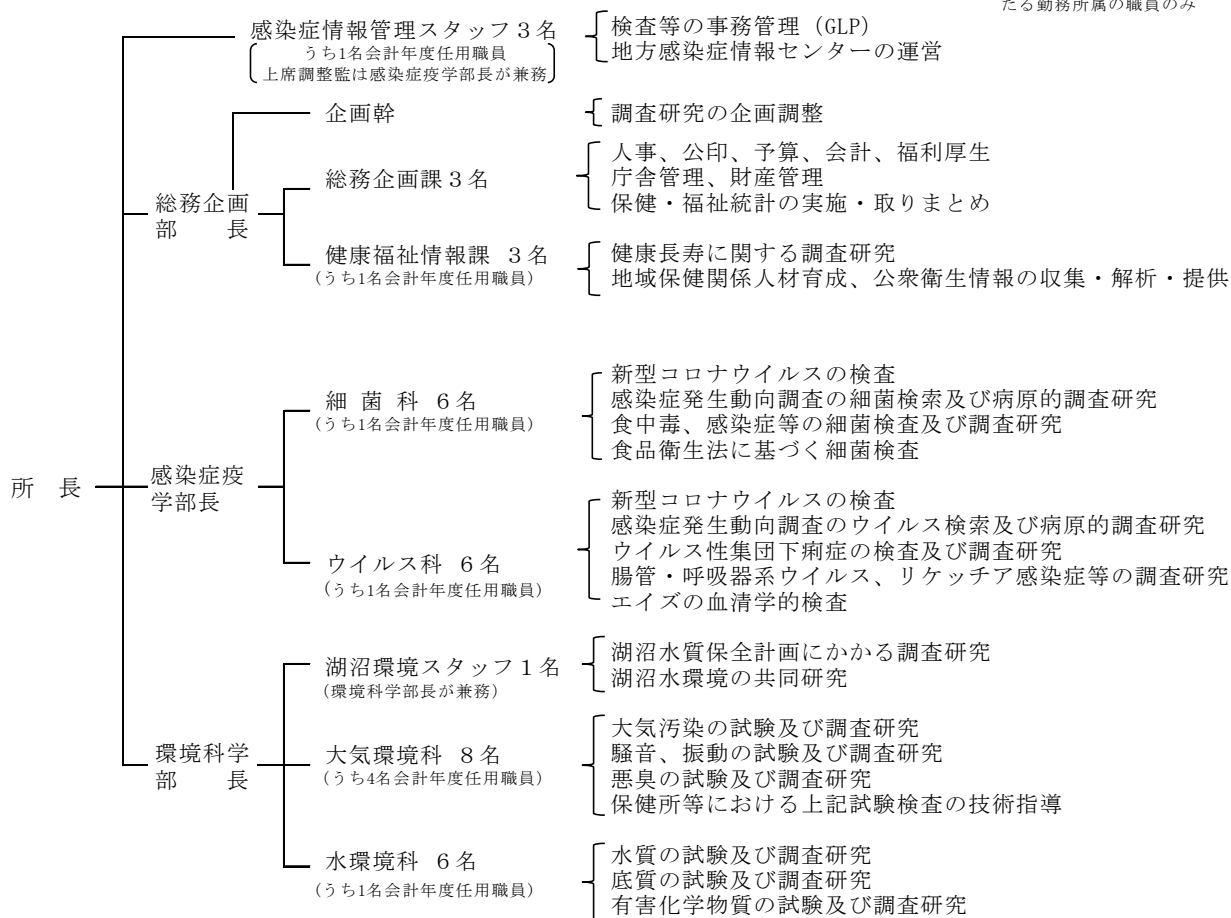
### 2.2 敷地と建物

敷地	9,771.07 m <sup>2</sup>	建物 延面積	4,958.80 m <sup>2</sup>
起工	昭和 50 年 3 月	竣工	昭和 51 年 9 月

### 3. 機 構

#### 3. 1 組織と分掌

(令和4年4月1日現在)  
※本務、兼務関係なく当所が主たる勤務所属の職員のみ



#### <気候変動適応センター>

センター長 \_\_\_\_\_ 副センター長 \_\_\_\_\_ センター員 3名  
(保健環境科学 研究所長) (環境科学部長) (総務企画部企画幹、大気環境科1名、水環境科1名)

#### 3. 2 配置人員

(令和4年4月1日現在)

職 名	所 長	感染症情報管理スタッフ	総務企画部			感染症疫学部			環境科学部			計	
			総務企画課	健康福祉情報課		細菌科	ウイルス科		湖沼環境スタッフ	大気環境科	水環境科		
技術系職員		(*1)				1			1				2
調整監										(*1)			0
科(課)長					1		1	1			1	1	5
企画幹			1										1
主任保健師					1								1
専門研究員							1						1
臨床検査主任		1											1
主任研究員							1	3			2	2	8
研究員							2	1			1	2	6
事務系職員	1		1										1
部長													1
課長													1
企画幹				1									1
主任				1									1
任用職員				1									1
会計年度任用職員		1					1	1				4	9
合 計	1	2	2	3	3	1	6	6	1	0	8	6	39

(注1) 本務、兼務関係なく当所の主たる勤務所属の職員のみ。

(注2) (\* ) は兼務者で合計に含まない。またこの表とは別に産休職員が1人在籍している。

### 3.3 業務分担

(令和4年4月1日現在)

部 署	職 名	氏 名	分 掌 事 務
感染症情報管理スタッフ	所 長	藤原 敦夫	所内業務の総括
	上席調整監	和田 美江子	感染症情報センターの運営、感染症発生動向調査委員会業務
	臨床検査主任	糸川 浩司	感染症情報センター業務、GLP業務
総務企画部	部 長	三島 裕子	感染症情報センター業務
	企 画 幹	穴道 靖	部内業務の総括、人事・職員の服務、職務発明審査
	課 長	常松 基子	調査研究の企画調整・運営、倫理審査
健康福祉情報課	企 画 員	荒木 一夫	課内業務の総括、安全衛生推進、所内企画調整会議運営、情報セキュリティ
	主 任	岸本 亮一	庁舎管理、県有財産管理、給与、福利厚生事務、保健・医療統計業務
	課 長	板持 真佐雄	予算、収入・支出事務、庁舎管理
感染症疫学部	主 任 保 健 師	加本 路恵	しまね健康寿命延伸プロジェクト、保健医療福祉施策推進のための調査・研究
	主任保健師	川岡 和也	しまね健康寿命延伸プロジェクト、保健医療福祉施策推進のための調査・研究
	主任保健師	藤谷 明子	しまね健康寿命延伸プロジェクト、保健医療福祉施策推進のための調査・研究
細菌科	部 長	和田 美江子	部内業務の総括
	科 長	川瀬 遵	科内業務の総括、技術指導、GLP、感染症等の検査事務及び管理、新型コロナ検査
	専門研究員	村上 佳子	食中毒・感染症等の微生物検査及び調査研究、食品衛生法に基づく細菌検査、新型コロナ検査
ウイルス科	主任研究員	川上 優太	食中毒・感染症等の微生物検査及び調査研究、薬剤耐性菌、新型コロナ検査
	研 究 員	野村 亮二	食中毒・感染症等の微生物検査及び調査研究、環境水の細菌検査、新型コロナ検査
	研 究 員	林 宏樹	食中毒・感染症等の微生物検査及び調査研究、結核検査、新型コロナ検査
環境科学部	部 長	保科 健	食中毒・感染症等の微生物検査及び調査研究
	調 整 監	福間 藍子	科内業務の総括、技術指導、感染症の検査事務及び管理、物品・毒劇物取扱主任事務
	科 長	藤澤 直輝	食中毒・感染症等(新型コロナ)の検査、ダニ媒介感染症
湖沼環境スタッフ	主任研究員	大西 理恵	食中毒・感染症等(新型コロナ)の検査、感染症発生動向調査のウイルス検索(主に下痢症・腸管系ウイルス)
	主任研究員	神庭 友里恵	食中毒・感染症等(新型コロナ)の検査、感染症発生動向調査のウイルス検索(主にインフルエンザウイルス)
	研 究 員	曾田 祐輔	食中毒・感染症等(新型コロナ)の検査、感染症発生動向調査のウイルス検索(主に呼吸器系ウイルス)
大気環境科	研 究 員	平林 チェミ	試験検査業務補助
	部 長	織田 雅浩	部内業務の総括、環境マネジメントシステム運用
	調 整 監	織田 雅浩	湖沼環境の総合調整、湖沼研究の外部機関との連携
水環境科	科 長	草刈 崇志	科内業務の総括、技術指導、大気汚染緊急対策
	主任研究員	倉橋 雅宗	大気環境監視、PM2.5、酸性雨測定、有害大気汚染物質調査、航空機騒音監視調査
	主任研究員	江角 敏明	大気環境監視、PM2.5、酸性雨測定、有害大気汚染物質調査
気候変動適応センター	研 究 員	小原 幸敏	大気環境監視、PM2.5、酸性雨測定、有害大気汚染物質調査
	主任研究員	園山 孝	有害大気及び大気環境測定所のデータ管理
	主任研究員	後藤 宗彦	PM2.5、有害大気汚染物質調査
環境科学部	主任研究員	石田 裕子	国設松江、国設隠岐に関すること、試験器具等の管理
	研 究 員	木村 尚子	有害大気、PM2.5及び酸性雨調査、有害大気及び大気環境測定所のデータ管理
	主任研究員	福田 俊治	科内業務の総括、技術指導、薬品管理、水質事故等の危機管理
気候変動適応センター	主任研究員	木戸 健一郎	水環境適正化対策モデル事業、地下水調査、調査船の保守・整備
	主任研究員	高見 桂	宍道湖・中海の水質環境基準監視
	研 究 員	引野 愛子	植物プランクトン、アオコ調査、事業場排水水質検査
気候変動適応センター	研 究 員	松本 奈津実	公共用水域河川及び神西湖の水質環境基準監視
	主任研究員	榎野 貴子	宍道湖・中海定期調査、試験器具等の管理
	主任研究員	藤原 敦夫	気候変動適応センターの総括
気候変動適応センター	主任研究員	織田 雅浩	気候変動適応センターの将来計画、運営
	主任研究員	常松 基子	県内の気候変動の解析に関すること
	主任研究員	江角 敏明	気候変動影響及び適応に関する情報の収集、整理及び提供
気候変動適応センター	主任研究員	木戸 健一郎	業者や県民等からの気候変動適応に関連する相談への対応及び情報発信

(注)本務、兼務関係なく当所が主たる勤務所属の職員のみ。

### 3.4 人事記録

(転 入)				(転 出)			
年月日	職 名	氏 名		年月日	職 名	氏 名	
4.4.1	所長	藤原 敦夫	環境生活部 参事	4.3.31	所長	近藤 一幸	定年退職
4.4.1	環境科学部長	織田 雅浩	調整監	4.4.1	環境科学部長	神門 利之	隠岐支庁隠岐保健所
4.4.1	総務企画課長	荒木 一夫	統計調査課	4.3.31	総務企画課長	小濱 隆志	定年退職
4.4.1	企画幹	常松 基子	医療政策課 (昇任)				
4.4.1	健康福祉情報課長	加本 路恵	県央保健所 (昇任)	4.4.1	企画員	遠藤 まどか	高齢者福祉課
4.4.1	主任保健師	川岡 和也	原子力安全対策課	4.4.1	主任研究員	藤井 未希	松江保健所
4.4.1	ウイルス科長	福間 藍子	環境政策課				
4.4.1	主任研究員	倉橋 雅宗	新規採用	4.4.1	主任研究員	野尻 由香里	松江保健所
4.4.1	水環境科長	福田 俊治					
4.4.1	研究員	松本 奈津実					

(注1)本務、兼務関係なく当所が主たる勤務所属の職員のみ。

(注2)昇任は科(課)長以上のみ表示。

## 4. 決算

### 4.1 令和4年度歳入

単位：円

科 目		収入 済 額	備 考
款 ・ 項 ・ 目	節		
使用料及び手数料		102,580	
使 用 料		102,580	
総 務 使 用 料		102,580	
財 産 使 用 料		102,580	電柱敷地使用料ほか
財 産 収 入		33,120	
財 産 運 用 収 入		26,520	
財 産 貸 付 収 入		26,520	
行 政 財 産 貸 付 収 入		26,520	電気使用料(自販機)
財 産 売 払 収 入		6,600	
物 品 売 払 収 入		6,600	
物 品 売 払 収 入		6,600	不用物品売却収入
諸 収 入		350,311	
雑 入		350,311	
雑 入		350,311	
総 務 雑 入		50,311	長寿命化工事水道代負担金ほか
衛 生 雑 入		300,000	水質調査船売却収入
合 計		486,011	

### 4.2 令和4年度歳出

単位：円

科 目		支出 済 額	備 考
款 ・ 項 ・ 目	節		
総 務 費		17,229,885	
総 務 管 理 費		17,229,885	
一 般 管 理 費		213,240	
旅 費		213,240	
人 事 管 理 費		8,885,519	
報 酬 等 費		6,748,680	
報 酬 等 費		1,232,340	
報 酬 等 費		903,399	
旅 費		1,100	
合 同 庁 舎 管 理 費		8,131,126	
需 用 費		8,131,126	
衛 生 費		259,001,217	
公 衆 衛 生 費		169,157,502	
公 衆 衛 生 総 務 費		140,075	
需 用 費		116,141	
役 務 費		20,934	
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金		3,000	
結 核 対 策 費		792,473	
需 用 費		792,473	
予 防 費		108,714,621	
報 酬 等 費		342,600	
報 償 費		194,800	
旅 費		558,065	
需 用 費		102,428,952	
役 務 費		811,008	
委 託 料		4,153,600	
使 用 料 及 び 賃 借 料		205,596	
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金		20,000	

保健環境科学研究所費		59,510,333
	報 酬	1,787,880
	職 員 手 当	333,040
	共 済 費	345,751
	報 償 費	111,600
	旅 費	641,891
	需 用 費	19,873,257
	役 務 費	707,653
	委 託 料	28,098,539
	使 用 料 及 び 賃 借 料	537,892
	備 品 購 入 費	6,908,330
	負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	164,500
環 境 衛 生 費		2,977,189
環 境 衛 生 総 務 費		85,189
	使 用 料 及 び 賃 借 料	85,189
食 品 衛 生 費		2,892,000
	需 用 費	2,700,000
	役 務 費	192,000
医 薬 費		26,848,079
医 務 費		26,848,079
	共 済 費	79
	需 用 費	15,000
	使 用 料 及 び 賃 借 料	15,000
	備 品 購 入 費	26,818,000
環 境 費		60,018,447
環 境 保 全 費		60,018,447
	報 酬	7,291,506
	職 員 手 当	1,332,160
	共 済 費	1,349,948
	報 償 費	216,300
	旅 費	490,228
	需 用 費	13,785,138
	役 務 費	472,255
	委 託 料	15,603,720
	使 用 料 及 び 賃 借 料	464,917
	備 品 購 入 費	18,870,975
	負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	141,300
合 計		276,231,102

## 5. 新規購入備品(令和4年度)

### 5.1 機器

(単位:円)

品名	形式	数量	価格
リアルタイムPCRシステム	QuantStudio7ProリアルタイムPCRシステムFast 96Well	1	11,132,000
ワークブース	DNAワークブース NSV-4	1	280,500
カラープリンター	リコー P C6010 A3カラープリンター(増設トレイ付)	1	165,550
真空ポンプ	直結型油回転真空ポンプ 100V アルバックGLD-137CC	1	192,500
リアルタイムPCRシステム	QuantStudio7ProリアルタイムPCRシステムFast 96Well	1	11,132,000
全自動核酸抽出システム	PSS magLEAD12gC	2	4,554,000
自動秤量希釈・定量分注装置	iUL スマートダイリューター (ツインポンプセット)	1	770,000
バイオフリーザー	バイオフリーザー 365L 日本フリーザー D-396HC	1	330,000
バイオフリーザー	ノンフロン バイオメディカルフリーザー 185kg PHC MDF-MU549DH-PJ	1	528,000
冷凍機付インキュベーター	冷凍機付インキュベーター 238L PHC MIR-254-PJ	2	1,133,000
外部開放系循環装置クールライン	外部開放系循環装置クールライン ヤマト科学 CLH302	1	319,000
エアコン(警備員室)	東芝ルームエアコン RAS-2212T(W)/RAS-2212AT, 他(室外機、室内機、リモコン)	1	220,000
バイオマルチクーラー	日本フリーザー KGT-4010HC	1	330,000
吸引ポンプ	柴田科学 080800-32 SIP-32L	1	114,950
冷凍機	クールマルチQシステム AFRV-D6VHQ 2式, AFL-RT3VHQ 1式	3	8,415,000
標準ガス自動希釈装置制御機器	Entech4600制御用PC	1	559,130
アルミブロック恒温槽	アルミブロック恒温槽 ドライサーモユニット タイテック 0075930-000 DTU-1CN	1	117,700
バイオメディカルフリーザー	MDF-MU539H-PJ	1	429,000
水質調査船	NEW NSC265-X スズキDF250APX ほかー式	1	17,759,975
器具乾燥器	DRU600CD 棚板4枚	1	451,000
データ解析用ノートパソコン	Latitude15 3000シリーズ(3520)	3	709,500
デスクトップパソコン	ESPRIMO D7012/LX	1	304,370
分析天びん	メトラ 320g ML304T/00	2	682,000
6連式マグネチックスターラー	三商 SAS-6M 6連式	6	600,600
デスクトップパソコン	ESPRIMO D7012/LX	1	291,500
自動雨水採取装置	US-330	1	1,490,500
被験空気採取分配管装置	ST-2 分配管 柴田科学 D96000-250	2	378,400

※ 10万円以上について記載

### 5.2 図書(備品)

地域保健関係法令実務便覧  
 食品衛生関係法規集  
 食品表示関係法規集  
 獣医公衆衛生法規集  
 公害JIS要覧  
 化学物質 規制・管理実務便覧  
 ISO環境マネジメントチェックリスト環境保全基準  
 廃棄物処理・リサイクルの手続きマニュアル  
 廃棄物処理の手引き  
 Q&A廃棄物・リサイクル トラブル解決の手引き  
 環境キーワード事典

### 5. 3 学術雑誌

書名	発行者
保健師ジャーナル	(株) 医学書院
公衆衛生情報	(一財) 日本公衆衛生協会
地域保健	(株) 東京法令出版
保健衛生ニュース	(有) 社会保険実務研究所
公衆衛生	(株) 医学書院
日本公衆衛生雑誌	日本公衆衛生学会
臨床と微生物	(株) 近代出版
日本音響学会誌	(一社) 日本音響学会
ぶんせき・分析化学	(社) 日本分析化学会
におい・かおり環境学会誌	(公社) におい・かおり環境協会
陸水学会雑誌	日本陸水学会
環境技術	環境技術学会

## 6. 行 事

### 6. 1 学会・研究会

年 月 日	名 称	開催地	出席者
<b>【細菌科】</b>			
R4.6.30～ 7.1	衛生微生物協議会第42回研究会	web開催	川瀬、村上、川上、林、野村
R4.7.28～ 8.11	*令和4年度島根県獣医学会	web開催	川瀬
R4.9.3～ 9.4	*令和4年度獣医学術中国地区学会	山口市	川瀬
R4.9.29～ 9.30	*第43回日本食品微生物学会学術総会	東京都	林、野村
R4.11.11～ 11.13	*第40回 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 第21回 アジア獣医師会連合大会	福岡市	川瀬
R5.1.14	令和4年度獣医公衆衛生講習会（中国地区）	広島市 (ハイブリッド開催)	川瀬
R5.2.3～2.5	*第34回日本臨床微生物学会総会・学術集会	横浜市	川上
R5.3.16～3.17	第96回日本細菌学会総会	姫路市	川瀬
<b>【ウイルス科】</b>			
R4.6.30 ～7.1	衛生微生物協議会第42回研究会	web開催	福間、藤澤、大西、神庭、曾田
<b>【大気環境科】</b>			
R4.9.14 ～16	*第63回大気環境学会	堺市	江角
<b>【水環境科】</b>			
R4.9.20 ～22	第33回廃棄物資源循環学会研究発表会	宮崎市、 web開催	織田
R5.1.7 ～8	第30回汽水域研究発表会 汽水域研究会第11回例会	松江市、 web開催	織田、木戸、引野
R5.3.15 ～17	*第57回日本水環境学会年会	松山市	木戸、引野、松本

(注) \*は当所研究員が発表した会



## 6. 2 研修会（企画・実施・協力する研修会）

	研 修 名	対 象 者	受講者数	実施場所	講 師
	<b>【健康福祉情報課】</b>				
R4. 4. 27	統括保健師等研修（健康危機管理）	市町村、保健所に勤務し、統括保健師・次期統括保健師・保健師等を取りまとめる立場の保健師	48名	サテライト（各保健所）	加本、川岡、藤谷
R4. 6. 21	第1回健康課題施策化研修会	(1)市町村・県に勤務し、中堅的立場にある保健師等 (2)キャリアレベルA-2～A-4の能力獲得を目指す個人またはチーム	24名	松江市	加本、川岡、藤谷
R4. 6. 6	プリセプター&指導者研修	新任時期の保健師の指導に当たるプリセプターと指導者	34名	松江市 浜田市	加本、川岡、藤谷
R4. 9. 7	第2回健康課題施策化研修会	(1)市町村・県に勤務し、中堅的立場にある保健師等 (2)キャリアレベルA-2～A-4の能力獲得を目指す個人またはチーム	20名	松江市	加本、川岡、藤谷
R4. 9. 12	新任保健師等研修会【前期】	市町村・県に採用された1年目の保健師・管理栄養士	25名	松江市	加本、川岡、藤谷
R4. 11. 14	健康課題施策化研修会【個別指導】	(1)市町村・県に勤務し、中堅的立場にある保健師等 (2)キャリアレベルA-2～A-4の能力獲得を目指す個人またはチーム	9名	松江市	加本、川岡、藤谷
R4. 12. 8	健康課題施策化研修会【個別指導】	(1)市町村・県に勤務し、中堅的立場にある保健師等 (2)キャリアレベルA-2～A-4の能力獲得を目指す個人またはチーム	11名	出雲市	加本、川岡
R4. 11. 18	中堅期保健師等フォローアップ研修（第1回：個別支援アセスメント応用編）	市町村、県・保健所に勤務する中堅期の保健師、栄養士、歯科衛生士等	89名	サテライト（各保健所）	加本、川岡
R4. 11. 29～30	新任保健師等研修会【後期】	市町村・県に採用された3年目までの保健師・栄養士・歯科衛生士	64名	出雲市	加本、川岡、藤谷
R5. 1. 13	第3回健康課題施策化研修会	(1)市町村・県に勤務し、中堅的立場にある保健師等 (2)キャリアレベルA-2～A-4の能力獲得を目指す個人またはチーム	17名	松江市	加本、川岡、藤谷
R5. 1. 24	統括保健師等研修会のフォローアップ研修（健康危機管理）	市町村、保健所に勤務し、統括保健師・次期統括保健師・保健師等を取りまとめる立場の保健師	36名	出雲市 浜田市	加本、川岡、藤谷
R5. 3. 6	中堅期保健師等フォローアップ研修（第2回：業務管理、マネジメント）	市町村、県・保健所に勤務する中堅期の保健師、栄養士、歯科衛生士等	104名	サテライト（各保健所）	加本、川岡
R5. 3. 18	中堅期・管理期保健師等研修	市町村、県・保健所に勤務する中堅期・管理期の保健師・管理栄養士等	60名	サテライト（各保健所）	加本、川岡
	<b>【細菌科】</b>				
R4. 10. 20-10. 21	細菌研修	地方衛生研究所に勤務する職員	19名	東京都	川上
R4. 11. 2	令和4年度地域保健総合推進事業に係る地域専門家会議	中国・四国支部の地方衛生研究所に勤務する職員	30名	松江市	川瀬
R4. 12. 11	島根県医師会と島根県獣医師会との学術連携による講演会（令和4年度 日本医師会生涯教育講座）	医師、獣医師、県に勤務する職員		松江市	川瀬
R5. 3. 3	合同情報交換会	保健環境科学研究所・家畜病性鑑定室・食肉衛生検査所に勤務する職員	9名	出雲市	川瀬、川上

【ウイルス科】					
R4.12.11	島根県医師会と島根県獣医師会との学術連携による講演会（令和4年度 日本医師会生涯教育講座）	医師、獣医師、県に勤務する職員		松江市	藤澤
【気候変動適応センター】					
R4.11.5	学習会「汽水環境の特徴と環境啓発ツール」	高校生	12名	出雲市	木戸
R4.12.4	島根半島・宍道湖中海ジオパークガイドスキルアップ研修	島根半島・宍道湖中海ジオパークガイド	14名	出雲市	木戸

### 6. 3 所内関係

年 月 日	内 容	出 席 者
R4.8.29	〔1. 保健環境科学研究所調査研究評価〕 保健環境科学研究所・原子力環境センター調査研究課題等検討委員会 （新規課題 4題、終了報告 4題、中間報告 1題）	健康福祉部長、環境生活部次長、外部評価委員外
R4.7.15	〔2. 保健環境科学研究所倫理審査委員会〕 迅速審査（書面審査） 研究課題4題	
R5.2.14	〔3. 安全衛生委員会〕 休暇取得状況、時間外勤務状況、定期健康診断受診状況、職場の安全衛生点検	委員10名

## 7. 検査件数(令和4年度)

検査項目		依頼によるもの				依頼によらないもの	
		住民	保健所	保健所以外の行政機関	その他 (医療機関、 学校、事業 所等)		
結核	分離・同定・検出		53				
	核酸検査		53			6	
	Q F T 検査						
	化学療法剤に対する耐性検査						
性病	梅毒						
	その他						
ウイ ケ ル ス ・ ア 等 検 査	分離・同定・検出	ウイルス	28,224	34,632	562		
		リケッチア			162		
		クラミジア・マイコプラズマ					
	抗体検査	ウイルス				36	
		リケッチア				70	
		クラミジア・マイコプラズマ					
病原微生物の動物試験							
原寄 生虫 ・ 等	原虫					23	
	寄生虫					0	
	そ族・節足動物						
	真菌・その他						
食中 毒	病原微生物検査	細菌	71	14			
		ウイルス	53	4			
		核酸検査	39	0			
	理化学的検査						
	動物を用いる検査						
その他							
臨 床 検 査	血液検査(血液一般検査)						
	血清等検査	エイズ(HIV)検査					
		H B s 抗原、抗体検査					
		その他					
	生化学検査	先天性代謝異常検査					
		その他					
	尿検査	尿一般					
		神経芽細胞腫					
その他							
アレルギー検査(抗原検査・抗体検査)							
その他							
食 品 等 検 査	微生物学的検査			17	33	11	
	理化学的検査(残留農薬・食品添加物等)						
	動物を用いる検査						
	その他						
細 菌 以 外	分離・同定・検出		107	23	27	83	
	核酸検査		63	11	1	404	
	抗体検査						
	化学療法剤に対する耐性検査		38	11	1	73	

(続き)

検査項目		依頼によるもの				依頼によらないもの	
		住民	保健所	保健所以外の行政機関	その他 (医療機関、 学校、事業 所等)		
医薬品・家庭用品	医薬品						
	薬部外品						
	化粧品						
	医療機器						
	毒劇物						
	家庭用品						
その他							
栄養関係検査							
水道等水質検査	水道原水	細菌学的検査					
		理化学的検査					
		生物学的検査					
	飲用水	細菌学的検査					
		理化学的検査					
	利用水等 (プール水等を含む)	細菌学的検査					
理化学的検査							
廃棄物関係検査	一般廃棄物	細菌学的検査					
		理化学的検査					
		生物学的検査					
	産業廃棄物	細菌学的検査					
		理化学的検査					
		生物学的検査					
環境・公害関係検査	大気検査	SO <sub>2</sub> ・NO <sub>2</sub> ・OX等		6,205			
		浮遊粒子状物質		8,419			
		降下煤塵					
		有害化学物質・重金属等	60	648			
		酸性雨		1,121			
	その他		365				
	水質検査	公共用水域		209	140		344
		工場・事業場排水		86			
		浄化槽放流水					
		その他					
	騒音・振動						
	悪臭検査						
	土壌・底質検査						
	環境生物検査	藻類・プランクトン・魚介類					36
その他							
一般室内環境							
その他							
放射能	環境試料(雨水・空気・土壌等)					10,646	
	食品						
その他							
温泉(鉱泉)泉質検査							
その他							
計		0	29,073	51,626	859	11,626	

## 8. 発表業績

### 8. 1 学会・研究会発表

年月日	題名	発表者	学会名	掲載誌名
<b>【細菌科】</b>				
R4. 8. 2	島根県で初めて確認されたカルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌の全ゲノムシーケンス解析	川瀬 遵	令和4年度島根県獣医学会	抄録集
R4. 9. 3～4	島根県で初めて確認されたカルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌の全ゲノムシーケンス解析	川瀬 遵	令和4年度獣医学術中国地区学会	抄録集
R4. 9. 29～30	鶏肉及び牛胆汁由来の <i>Campylobacter jejuni</i> 分離株と人由来株の分子疫学解析	林 宏樹	第43回日本食品微生物学会学術総会	抄録集
	seh遺伝子単独保有の黄色ブドウ球菌による食中毒事例	野村 亮二	第43回日本食品微生物学会学術総会	抄録集
R4. 11. 11～13	EvaGreenリアルタイムPCRによるジフテリア毒素産生 <i>Corynebacterium ulcerans</i> の迅速同定法の開発	川瀬 遵	第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会	抄録集
	IMI型カルバペネマーゼ遺伝子の新規バリエーションを保有する <i>Enterobacter cloacae</i> complexの全ゲノム解析	川瀬 遵	第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会	抄録集
R5. 2. 3～5	IMI型カルバペネマーゼ遺伝子の新規バリエーションを保有する <i>Enterobacter cloacae</i> complexの解析	川上 優太	第34回日本臨床微生物学会総会・学術集会	抄録集
<b>【大気環境科】</b>				
R4. 9. 14～16	島根県における光化学オキシダント生成に関わるVOCs及びアルデヒド類調査	江角 敏明	第63回大気環境学会年会	講演要旨集 P. 216
<b>【水環境科】</b>				
R5. 3. 15～17	宍道湖に繁茂する水草帯での水質の連続観測	木戸健一郎	第57回日本水環境学会年会	講演集 P. 7

## 8. 2 令和4年度集談会

回	年月日	演 題	演 者
620	R4. 10. 20	島根県民の食の現状と県の取組 感染症対策 新型コロナウイルス感染症への罹患事例	加本 路恵 和田 美江子 大西 理恵
621	R4. 11. 17	結核菌の分子疫学解析 気候変動と適応について PM2.5の今	林 宏樹 織田 雅浩 江角 敏明
622	R4. 12. 15	seh遺伝子単独保有の黄色ブドウ球菌による食中毒事例 ダム湖表層におけるヒドロキシルアミンの生成	野村 亮二 引野 愛子
623	R5. 3. 16	斐伊川からの流入負荷実態把握調査 フクシマの除染の先は？	福田 俊治 松尾 豊

(注)例年より実施回数が少ないのは新型コロナウイルス感染症流行により中止になっていることによる。

## 8. 3 保環研だより

No	発行月	内 容
169	2022年5月	1. 島根県の大気汚染常時監視について 2. 宍道湖の難分解性有機物に関する調査について
170	2022年9月	1. 光化学オキシダントの状況とその監視について 2. 気候変動に適用しよう～きのこへの適応～ 3. 平常時及び緊急時の環境放射線モニタリングについて
171	2023年1月	1. 斐伊川のリン負荷量調査 2. 食肉のカンピロバクター汚染と食中毒対策について